

石戸浄水場 廃止に関する経緯と見通しについて（桶川北本水道企業団 令和7年8月）

1. 当初計画（平成27年度）

- 「水道事業ビジョン」において、石戸浄水場を令和7年度に廃止する方針を定めた。

2. 検証結果（平成30年度）

- 「石戸浄水場周辺地域の管網整備計画作成業務委託」にて石戸浄水場廃止後の水運用を検証。
 - 川田谷浄水場電源を「PC系」「RC系」に分割。
 - いずれかを常時運用可能とするため、2電源化が必要との結論。

3. 対応計画（令和元～2年度）

- 「水道事業実施計画策定業務委託」により、川田谷浄水場の電気設備更新計画を策定。
 - 2電源化を盛り込み、当初は令和5～6年度での完了を予定。

4. 設計検討（令和3～4年度）

- 設計業務委託により川田谷浄水場電気設備更新の詳細設計を実施。
 - ウクライナ情勢による資材調達難を考慮し、工期を令和5～7年度の3か年に設定。

5. 進捗（令和5年度～令和8年3月）

- 令和5年度：予定どおり着工
- 令和8年3月：電気設備更新工事完了予定
 - 2電源化の実現により、石戸浄水場の廃止が可能となる。

6. 今後の計画と課題

- 令和6～8年度：水道事業基本計画等改定業務委託を実施中
(※水道事業ビジョンの見直しを含む)
- 令和8～10年度：加納配水場の電気設備更新工事を予定
- 近年：平均配水量が予測値を上回る傾向
 - 工事期間中にトラブルが発生した場合、安定給水を確実にすることが難しくなるリスクあり。

→ 石戸浄水場の廃止時期は、加納配水場工事や需要動向を踏まえ、慎重に再設定が必要。

※経緯の時系列まとめ

| 年度 | 区分 | 内容 |
|----------|--------|--|
| 平成27年度 | 計画 | 「水道事業ビジョン」において、石戸浄水場を令和7年度に廃止する方針を定めた |
| 平成30年度 | 検証 | 「石戸浄水場周辺地域の管網整備計画作成業務委託」にて検証 → 川田谷浄水場電源を「PC系」「RC系」に分割し、2電源化が必要と結論 |
| 令和元～2年度 | 対応計画 | 「水道事業実施計画策定業務委託」により川田谷浄水場の電気設備更新計画を策定 → 当初は令和5～6年度で完了予定 |
| 令和3～4年度 | 設計検討 | 設計業務委託により川田谷浄水場電気設備更新の詳細設計を実施 → ウクライナ情勢による資材調達難を考慮し、工期を令和5～7年度（3か年）に設定 |
| 令和5年度 | 工事着工 | 電気設備更新工事に予定どおり着工 |
| 令和8年3月 | 工事完了予定 | 川田谷浄水場の電気設備更新工事が完了予定 → 2電源化の実現により、石戸浄水場の廃止が可能となる |
| 令和6～8年度 | 基本計画改定 | 「水道事業基本計画等改定業務委託」を実施中（※水道事業ビジョンの見直しを含む） |
| 令和8～10年度 | 今後の課題 | 加納配水場の電気設備更新工事を予定 → 近年、平均配水量が予測値を上回っており、工事期間中の安定給水にリスク |